

各 位

会 社 名 株式会社ダイケン
 代 表 者 代表取締役社長 藤岡 洋一
 (JASDAQ・コード：5900)
 問合わせ先 取締役会総務部長 北脇 昭
 電 話 06-6392-5551

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年9月30日に公表いたしました業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 28 年 2 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 27 年 3 月 1 日～平成 28 年 2 月 29 日)

(単位：百万円)

| | 売 上 高 | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 当 期 純 利 益 | 1 株 当 り 当 期 純 利 益 |
|------------------------------|--------|---------|---------|-----------|-------------------|
| 前回予想 (A) | 11,300 | 760 | 770 | 465 | 円 銭 79.16 |
| 今回修正 (B) | 10,800 | 460 | 490 | 300 | 51.07 |
| 増減額 (B - A) | △500 | △300 | △280 | △165 | |
| 増減率 | △4.4% | △39.5% | △36.4% | △35.5% | |
| (ご参考) 前期実績 (平成 27 年 2 月期) | 10,908 | 717 | 714 | 433 | 73.83 |

2. 業績予想数値の修正理由

当通期累計期間につきましては、主な需要先である建設業界の景況は、公共投資が総じて弱い動きの中、民間設備投資では製造業を中心とした回復が見られました。また、新設住宅着工戸数も増加傾向であるものの、マンション等の新規集合住宅の伸びは鈍い状況となっております。このような中、比較的利益率が高い既存製品群の拡販等を進めてまいりましたが、企業間競争が激化しており、関連する当社製品の売上高は、前回予想値を 4.4%程度下回る見込みであります。

また、利益面につきましては、製造経費や販売管理費の削減に取り組みましたが、円安に伴う原材料費の高騰や高止まりしている運搬費等の影響につきまして、改善や販売価格への転嫁も十分できなかったことなどにより、営業利益は 4 億 60 百万円 (前年同期比 35.8%減)、経常利益は 4 億 90 百万円 (前年同期比 31.4%減) となる見込みであります。通期の当期純利益は、3 億円 (前年同期比 30.7%減) となる見込みであります。

上記のとおり通期累計期間の業績予想を修正いたします。

3. 配当予想の修正について

(1) 平成28年2月期配当予想の修正内容

| | 年間配当金 | | |
|---------------------------|----------|---|---|
| | 第2四半期末 | 期 末 | 合 計 |
| 前 回 予 想 | — | 14 円00 銭 (普通配当 12 円00 銭) (業績配当 2 円00 銭) | 14 円00 銭 (普通配当 12 円00 銭) (業績配当 2 円00 銭) |
| 今 回 修 正 予 想 | — | 14 円00 銭 (普通配当 12 円00 銭) (特別配当 2 円00 銭) | 14 円00 銭 (普通配当 12 円00 銭) (特別配当 2 円00 銭) |
| 当 期 実 績 | 0 円 00 銭 | | |
| 前 期 実 績 (平成 27 年 2 月期) | 0 円 00 銭 | 16 円00 銭 (普通配当 12 円00 銭) (業績配当 2 円00 銭) (記念配当 2 円00 銭) | 16 円00 銭 (普通配当 12 円00 銭) (業績配当 2 円00 銭) (記念配当 2 円00 銭) |

(2) 配当予想修正の理由

当初、当期の期末配当金の予想を、普通配当 12 円に加え、1 株当たり当期純利益が 65 円を上回る場合 2 円を配当することとする当社の配当方針に従い、14 円 00 銭(年間配当金 14 円 00 銭)と発表しておりましたが、上記の業績予想の修正のとおり 1 株当たり当期純利益が 65 円に至らない見込みとなりました。

しかしながら、当社は、株主に対する利益還元を経営における重要政策の一つであると考えており、利益額は低下いたしました。株主の皆様のご支援にお応えすべく、普通配当 12 円に、配当性向等を勘案し特別配当 2 円を加え、合計 14 円の配当を行う予定であります。なお、期末配当金の正式決定は、平成 28 年 4 月に開催する決算に関する取締役会並びに、5 月下旬開催予定の第 68 回定時株主総会の承認をもちまして配当を行う予定であります。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上